

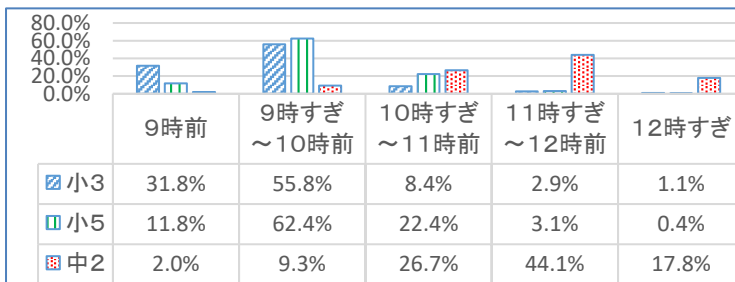


子どもの生活・意識アンケート 町内 小3, 小5, 中2が対象

「子ども生活・意識アンケート」を行いました。結果は既にホームページに掲載しております。このアンケートは、本センターが設置された平成17年度から、毎年実施してきました。今回11項目について質問した結果、多くのことがみえてきました。

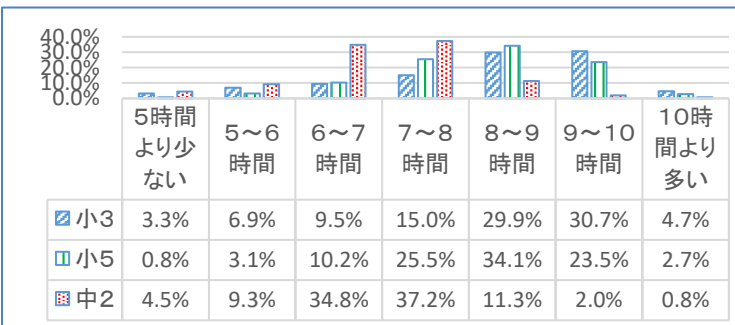
項目ごとに良い点もありますが、課題点もあります。未来を生きる子どもたちのために、これらの課題にしっかり目を向けて、学校や家庭として課題解決に向けた取り組みや指導・支援を行っていく必要があります。

問1 平日寝るのは何時ごろですか



○小学生の就寝時刻は全体的に早くなってきているが、中学生は遅くなってきている。
○12時以降は何時頃就寝しているのか、また、どのような理由で起きているのかについて状況把握が必要である。

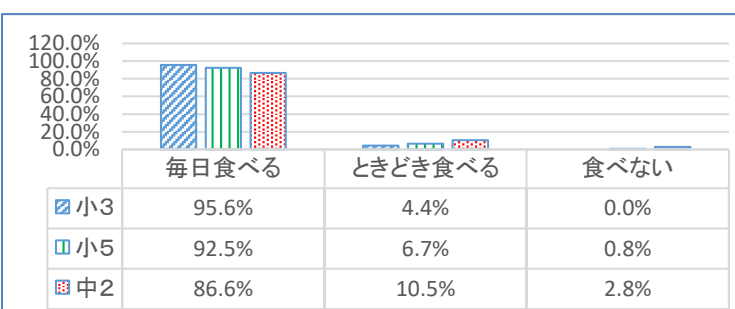
問2 平日の睡眠時間はどれくらいですか



○学年が上がるにつれ睡眠時間は短くなる傾向にあるが、特に中学生になると7時間未満が約半数（約50%）を占める。
○睡眠時間が少ないと、勉強への集中力を減らすとされている。また、成長ホルモンの分泌に影響が出て、低身長となるリスクも高まる。さらに、睡眠不足が続くと、勉強だけでなく、スポーツに取り組む力の向上も低くなり、体力もつきにくいとされている。十分な

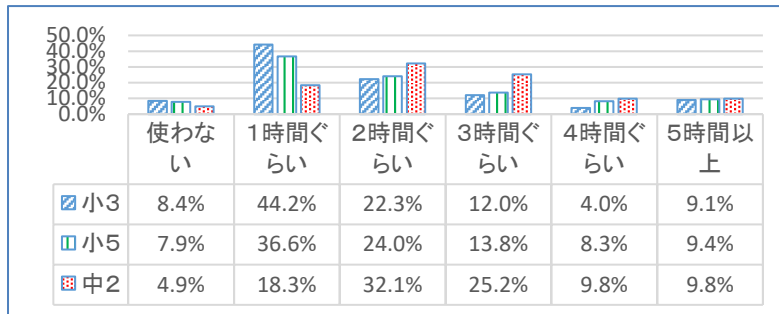
睡眠は、体の健やかな成長の糧にもなるが、それだけではなく、精神の健康にも関わってくる。

問3 平日、朝食を食べて学校に行きますか



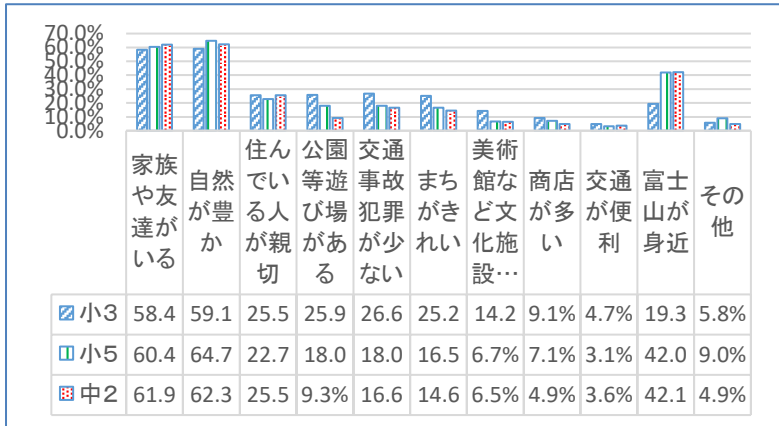
○「全体的に朝食を食べて学校に行く」割合は高いが、学年が上がるにつれて減っている。特に中2は「毎日食べている」が86.6%と90%を割っており、令和元年と比較しても約4%減少している。しかし、「朝食を食べない」生徒はわずかではあるが1.3%減少している。

問6 パソコンやタブレット、ゲーム機を1日どれくらい使いますか



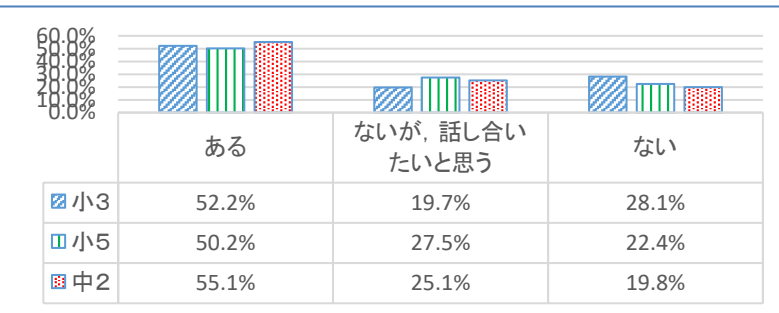
○学年が上がるにつれ、使用する子どもが増加し、時間も長くなっていることがわかる。
○質問内容に「平日」・「休日」の指定をしていなかったが、5時間以上使用していると答えた子どもが、どの学年にも約10%もいた。「平日」・「休日」で使用時間が変わってくると思うが、家庭での適切な指導・ルール作りを行い、使用目的や使用場所・使用時間帯等を決めていく必要性がある。

問9 あなたが住んでる町や地域で好きなところはどこですか。



○「富士山が身近にある」が小5、中2で40%を超えているのは、各校での富士山学習が着実に定着していることも考えられる。また、「家族や友達がいる」が、どの学年でも約60%となっていること、「住んでいる人が親切」と答えた子どもが4人に1人いることも嬉しいことで、家庭・学校・地域環境が比較的良好であることがいえる。

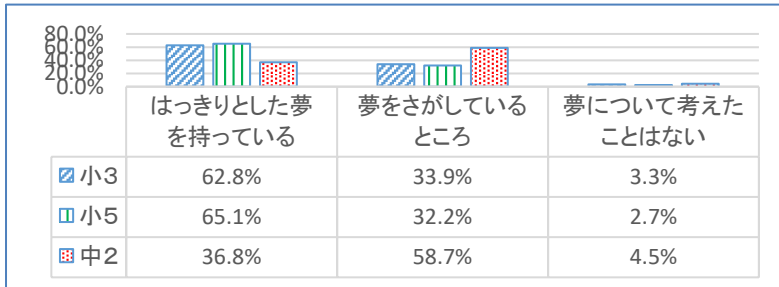
問10 あなたは、家族で大きな自然災害が起きたときのことを話し合ったことがありますか



○どの学年も半数以上が「災害が起きたときのこと」について話し合ったことがあると答えている。各校や専門機関と連携しての防災教育が少しずつ浸透してきていること、富士山噴火ハザードマップが改訂されたこと、日本各地で災害が起きていること等が考えられる。

○学校の学習においては防災教育を行っているが、家庭や地域を巻き込んだ防災教育を含めて、さらに進めていく必要がある。

問11 将来の夢をもっていますか。一番近いものを1つ選んでください



○「はっきりとした夢がある」は、小3で62.8%、小5で65.1%と高い割合であるが、中2では36.8%と低い割合となっている。○令和元年と比較すると、「はっきりとした夢がある」は小3、小5で約7%、中2で約3%減少している。特に中2については、平

成28年41.2%、平成29年には40.8%の調査結果となっており、年々少しずつ低い割合となっている。また、「考えたことはない」は、若干ではあるが小3、小5で減少し、中2で増加している。

○中2において「夢がある」の割合が低くなっているのは、受験・進学等キャリア教育を進める中で、将来をより現実的なものとして捉えるようになったためではないかと考えられるが、それも大切なステップと思える。